

〈認知症専門棟介護部の紹介〉



スタッフ紹介

私たちは、サンライフゆもと認知症専門棟の専属介護スタッフとして、認知症がある利用者様の介護をしています。専属介護スタッフの年齢は20～40代で、育児をしながら仕事に励む職員も多く、施設にある母親支援室を活用しながら安心して仕事に打ち込むことができます。



介護の現場で大切にしている3つの思い



1つ目は、どんなときでも笑顔で接すること。

認知症の利用者様にとっては、いつもその時が『初めて』です。ご本人様が納得するまで、とことん笑顔でお付き合いします。

2つ目は、歩み寄り姿勢を持ち、利用者様一人一人の笑顔を引き出す。



不安や苛立ち、抵抗にも愛情を持って関わり、根気強く継続して接していきます。また個別ケアを強化しており、その方に合った声掛けや対応方法を個人ごとに取り組んでいます。そうすることで利用者様の気持ちも和らぎ、お互いの信頼関係が芽生え、自然に利用者様からも笑顔がみられます。それが私たちの励みにも繋がります。

3つ目は、絶えず相手を自分や両親、祖父母に置き換えながらケアを行うということです。

この施設だったらお世話になってもいいと思えるような質の高いサービス提供を心掛け、幅広く満足して頂ける介護を目指しています。





私たちの取り組み



私達の取り組みとしては、その方らしい日常生活が送れるように多職種連携してプランやサポートする内容を検討し、集団生活の中でも個別的なケアを行っています。タブレット端末を使用している囲碁や将棋などの娯楽は男性利用者様に人気です。手芸や調理実習、テーブル拭きやエプロンたたみなどの主婦的作業を行ったり、野菜作りなどの園芸、力作業や運び方などの手伝いを通して、社会に貢献し周囲からも認められているという達成感を得ることができ、それは自信や生き甲斐を見い出してくれていると私達は考えます。日頃から仕草や表情などの観察をしたりご本人様の立場や目線になってその原因を考えてみることは、相手と向き合い寄り添うことが解決の糸口だと思います。介護や認知症、医療についても日々学ぶ姿勢を崩さず、常に向上心を持ちながら業務に努めることも大事です。介護技術の他、認知症についての知識を修得するために専門的な講習会や勉強会へも積極的に参加しています。利用者様と共に1つの目標を達成した時は、自分自身へのスキルアップへも繋がっていきやりがいを感じる仕事だとも思っています。

ご家族様と共に。。



在宅復帰という自宅へ帰るまでのサポートも充実しており、これまで専門棟でも多くの認知症の利用者様が定期的に在宅復帰を行っています。介護疲れを経験してきたご家族様が今度は安心して認知症の介護に臨めるよう、在宅復帰前は何度もカンファレンスの場を設け、入念な打ち合わせを行いながら一つでも不安を減らせるようサポートしています。また、在宅復帰後もご家族様の介護負担がないかを確認しケアも行っています。

私たちの今後の目標！！

私達は、日々取り組んでいる認知症の方々へのケアの方法や認知症のご家族様の悩みを聞いたり、その地域の方々の為にも活用出来たらと考えています。少しでも地域の方々の方力になれるよう触れ合い、認知症のことについて理解して頂く機会を作っていきたいと思ひます。

